

令和8年度 新冠町の予算

令和8年度の一般会計予算総額は61億3700万円となっており、前年度当初予算に対し9600万円減額となっています。

歳入予算では、自主財源であります町税については、全ての税目で増収を見込んでおり、町税全体では1275万7千円の増額、前年度対比1.8%の増となっております。また、最も大きな割合を占める地方交付税については、令和8年度地方財政計画や近年の交付実績を考慮し、前年度当初予算に対し1億5千万円の増額を見込んでおります。

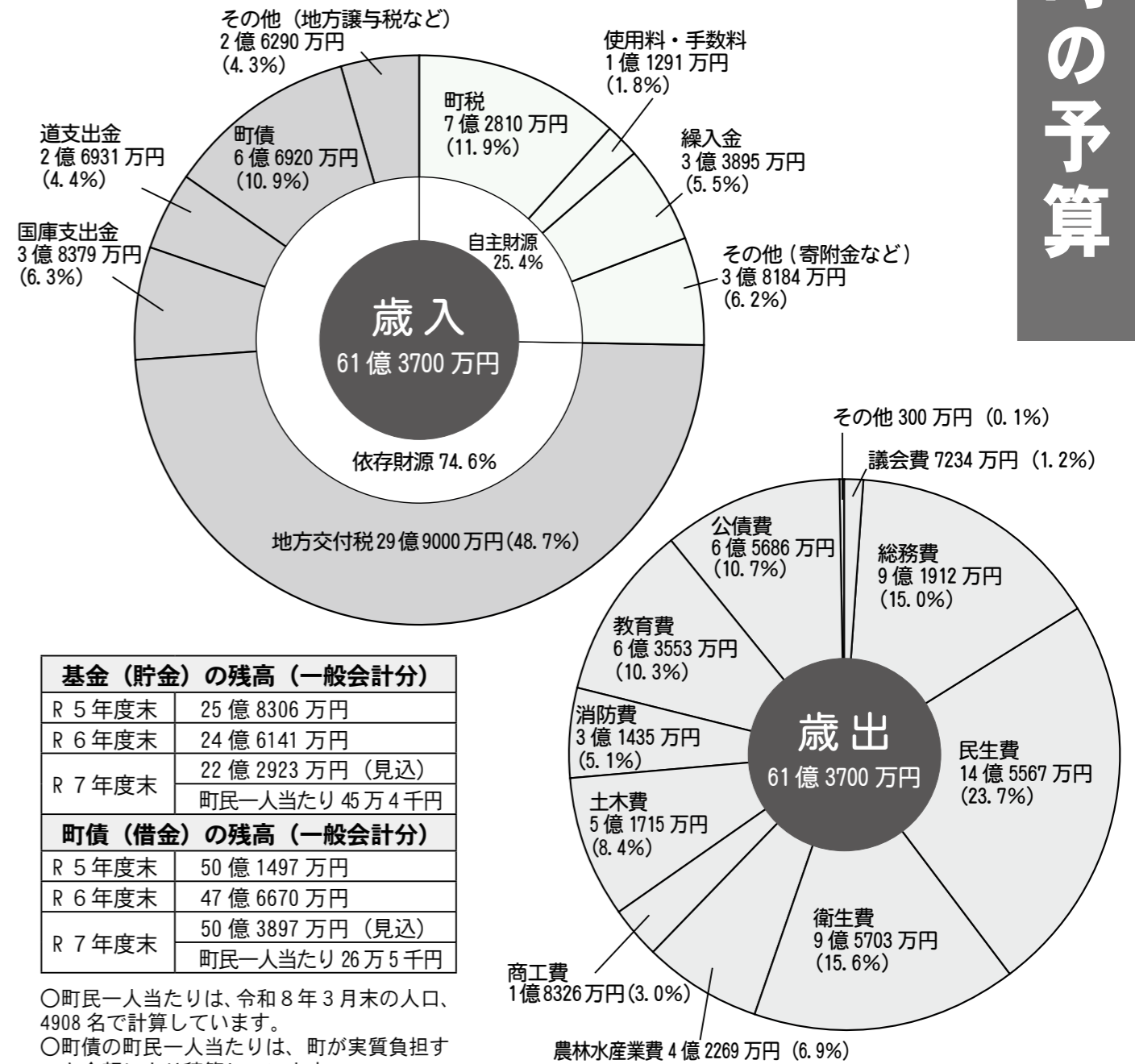
歳出予算では、令和7年度当初予算（骨格予算）と対比し1.5%の減となっております。財政収支や将来負担を見据え、投資的経費につきましては、緊急度や優先度の高い事業について計上しております。

令和7年度末の町債（借金）の残高見込は、約50億3千9百万円、令和8年度末の見込みでは約52億7千2百万円となっております。約2億3千3百万円の増加となりますが、減債基金の繰入など町債の償還財源の計画的な確保により、起債残高の適正な管理を図って参ります。

基金（貯金）については、令和8年度末の見込みで約20億1千4百万円となっております。

会計名	今年度予算額	前年度予算額	前年度比増減率
一般会計	61億3700万円	62億3300万円	△1.5%
国民健康保険特別会計	7億7422万円	8億1566万円	△5.1%
後期高齢者医療特別会計	1億1956万円	1億0000万円	19.6%
介護サービス特別会計	3億2866万円	3億0993万円	6.0%
国民健康保険診療所特別会計	4億7752万円	4億7004万円	1.6%
特別会計合計	16億9996万円	16億9563万円	0.3%
簡易水道事業会計	3億7218万円	3億9176万円	△5.0%
下水道事業会計	3億6834万円	3億2975万円	11.7%
企業会計合計	7億4052万円	7億2151万円	2.6%
新冠町合計	85億7748万円	86億5014万円	△0.8%

一般会計項目別内訳



基金（貯金）の残高（一般会計分）	
R5年度末	25億8306万円
R6年度末	24億6141万円
R7年度末	22億2923万円（見込）
	町民一人当たり45万4千円
町債（借金）の残高（一般会計分）	
R5年度末	50億1497万円
R6年度末	47億6670万円
R7年度末	50億3897万円（見込）
	町民一人当たり26万5千円

○町民一人当たりは、令和8年3月末の人口、4908名で計算しています。
○町債の町民一人当たりは、町が実質負担すべき金額により積算しています。

令和8年度の主な事業

◆北星町町有地開発事業

北星町町有地4.8haの開発全体構想に基づき、1.3haのインフラ整備に必要な上下水道、道路の整備に係る実施設計業務の委託。

◆官学連携まちづくり事業

東京大学との連携により、レ・コード館に所蔵する100万枚のアナログレコードの資産価値を可視化・対外発信することで新冠町へのヒト・モノ・カネの循環を生み出し、地域活性化へと繋げるもの。

◆創業支援事業

町内で新たに事業を開始する方に対し、創業当初に必要な経費の一部を補助するもの。

◆家計応援プレミアム付き商品券事業

物価高騰の影響を受けている町内消費を喚起するとともに、町民の生活支援と町内事業者の経済支援を目的として、プレミアム付商品券の発行・販売事業を実施するもの。

町内登録店で利用できるプレミアム率50%の商品券を発行。

◆優駿浪漫街道サラブレッド壁画改修工事

国道235号の節婦長道に整備し、観光客の記念撮影ポイントとなっているサラブレッド壁画が経年による色彩劣化が著しいため、改修を行うもの。

◆AIオンデマンドバス運営事業

地域公共交通として運営してきた「西新冠地区予約運行方式（デマンド運行）」とコミュニティバス「メロディー号」を一本化し、AIオンデマンドバスを本格運行するもの。

◆子ども医療給付費の拡大

医療機関を受診した医療費のうち、保険診療分の自己負担額を給付しているが対象年齢を「満15歳以下」から「満18歳以下」に拡大するもの。

◆保育料の無料化（歳入予算）

これまで就学前児童に係る保育料は3歳以上を無料とし、3歳未満は所得状況により減額していたが、令和8年4月からは保育料全てを無料とするもの。